

テレメンタリー2023年度特別賞 受賞 「世界一きれいな言葉」 オープンキャプションや日本手話の導入が高評価

2024年4月19日（金）

HTB制作のテレメンタリー「世界一きれいな言葉」（2024年2月4日放送）が、テレメンタリー2023年度特別賞を受賞しました。テレメンタリーは、テレビ朝日系列の全国24社が制作するドキュメンタリー番組で、毎年4月に過去1年間の作品を対象とした年間の賞が選ばれます。

受賞番組は、生まれつき耳が聞こえない春日晴樹さんの人生を通してろう者の言葉「手話」の魅力を伝えたもので、字幕ボタンを押さなくても字幕が表示されるオープンキャプション方式を採用し、日本手話による手話通訳を導入した新たな取り組みが評価されました。報道部の喜多和也ディレクターは「ろう者の人にも伝わることを目指して、当事者の意見を取り入れながら作りました。まだ課題も多くありますが、挑戦を評価していただきありがとうございます」と受賞を喜び、広瀬プロデューサーは「番組制作を通じて、音のない世界、奥深い手話の魅力について学ぶと同時に、テレビを介して伝えることの課題にも直面しました。この学びを今後の番組制作に生かしていきたい」と話していました。

